

若年性黄色肉芽腫症 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2022年12月14日 ~ 2023年3月31日

〔研究課題〕

若年性黄色肉芽腫に含まれる特定の遺伝子異常を有する組織球症の診断アルゴリズムの作成と臨床像に関する研究

〔研究目的〕

若年性黄色肉芽腫の多くの患者さんは、皮膚だけに病変があり治療を必要とすることはありません。近年、若年性黄色肉芽腫の一部の患者さんに特定の遺伝子異常が認められることがわかっています。特定の遺伝子に異常を持っている若年性黄色肉芽腫症は化学療法を必要とする患者さんが多いことが知られています。しかしながら、特定の遺伝子に異常を持っている若年性黄色肉芽腫を診断する方法や、どのような患者さんが特定の遺伝子に異常を持っているのかわかっていません。この研究では、特定の遺伝子に異常をもつ若年性黄色肉芽腫を診断する方法や、どのような患者さんが特定の遺伝子異常をもっているのかを明らかにします。

〔研究意義〕

この研究で得られる知見により、新たな治療法の開発や治療法の適正な選択に役立つことが期待されます。

〔対象・研究方法〕

研究対象：既に特定の遺伝子に異常を持つことが判明している若年性黄色肉芽腫患者さん、成育医療研究センターと、この研究に協力する医療機関で若年性黄色肉芽腫と診断された患者さん

研究方法：

病理学的検査および遺伝子変異の解析結果と、臨床情報(診断時の年齢、病変部位、病型および治療内容、再発の有無など)を国立成育医療研究センターに情報を提供して統合して解析を行います。

既に、病理学的検査と遺伝子変異の解析を行っている患者さんは、その解析結果を用います。

〔研究機関名〕 研究代表機関・研究代表者 国立成育医療研究センター 塩田曜子

研究者

埼玉県立小児医療センター 責任者:中澤温子

弘前大学小児科 責任者:工藤耕

本学研究責任者 小児科 樋渡光輝

研究分担者 小児科 中村こずえ 小児科 三牧正和

(本学は情報提供のみを行います。)

〔個人情報の取り扱い〕

臨床情報については診断時の情報や治療内容および晩期合併症などであり、氏名や住所などの個人情報は含みません。

本学では、個人情報との突合せを行う対照表については、研究終了後 TARC にて 10 年保管、廃棄されます、

主たる研究機関の国立成育医療研究センターでは、本研究に関する情報は、研究期間終了後 5 年もしくは最終結果の公表後 3 年のどちらか遅い期間まで保存し、期間が終了した後は廃棄します。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 樋渡 光輝 職名 講師

研究分担者：氏名 中村 こずえ 職名 客員講師

氏名 三牧 正和 職名 主任教授

所属：帝京大学医学部小児科学講座

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211（代表）〔内線 33705 〕